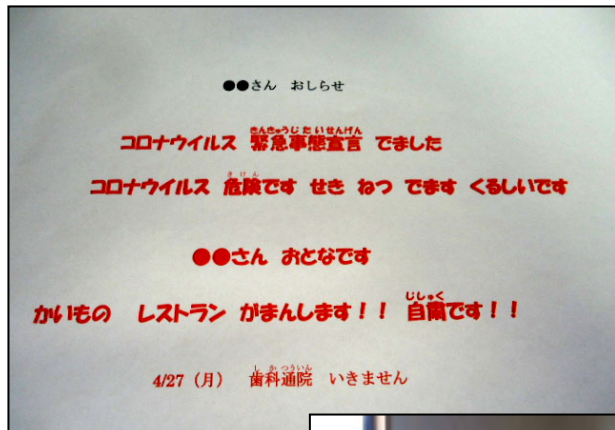




今までとは違う
新しい生活が始まる!!



マスクを着けて

仕事に行ってきます!



目次

- | | |
|--|----------|
| ・「T・D・S・N (Tanpopo Daily Support News) 54」 | <2~4ページ> |
| 「待つことの大切さ~コロナ禍で学んだこと」 | |
| ・決算報告 | <5ページ> |
| ・後援会のご案内・ボランティアの募集・編集後記(編集部) | <6ページ> |

「待つことの大切さ～コロナ禍で学んだこと」

「こっとなはうす」というグループホームの職員をしております、鈴木と申します。もう1名の職員とともに4名の利用者さんの生活支援を行っています。利用者さんは皆さん、知的なハンディを伴う自閉スペクトラム症の方々です。

私たちは現在、今までに経験したことのない事態に直面しています。新型コロナウイルスによる感染予防のための外出自粛です。

グループホームでの生活支援を行う中で、外出する機会はいくつかあります。個人のおやつや共有物の日用品や調理食材の買い物などです。また、ご自宅に帰宅した際も出かける予定があったり、日中の活動場所である「わたげ」で仕事をした後、カラオケなどの予定がはいっている方もいました。

政府より緊急事態宣言が発令され、当法人としても感染予防のため外出を制限する必要があると判断しました。当然、この状況を各利用者さんが理解できる形でどう説明していくか、私達支援者は考えていく必要があります。

自閉スペクトラム症の方々へ伝達する際、いつも以下の要素を意識して伝達文書を作っています。

それは「①いつ、②どこで、③何を、④どのように、⑤終わりは、⑥終わったらその次は」の6項目です。

しかし、今回は終わりが見えません。先の見通しが持てません。相手はウイルスなので目に見えません。

この中で、どのような方向性でご本人たちにお伝えしていくのか、職員とご家族で話し合いました。

結論は至極単純で「ありのまま、そのままお伝えする」という事でした。ご本人たちにマスクの着用や、普段行っている買い物や余暇での外出予定の中止、そしてその理由をお伝えしました。

お伝えした内容は以下の通りです。

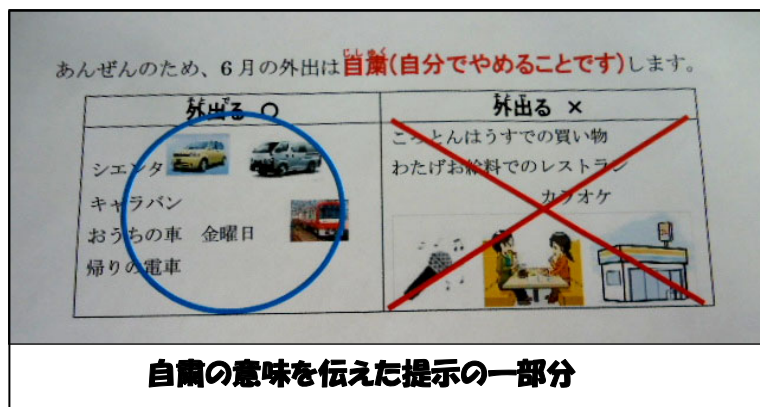
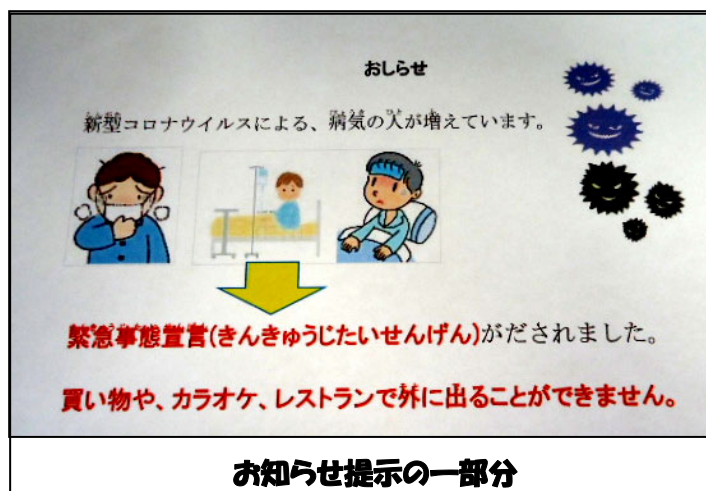
1. 新型コロナウイルスという病気が流行っていること。
2. 新型コロナウイルスは、とても人にうつりやすい、危険な病気であること。
3. 緊急事態宣言が出されたこと。

緊急事態宣言とは、必要な外出以外は行わないということであり、「外出できることは〇〇、××」「外出出来ないことは▲▲、●●」と、ご本人の活動全てを出来るものか出来ないものかに分類し、イラストや文書にてお伝えしました。

また、いつ終わりになるかはわかりませんので、ご本人の見通しが持てる期間を一区切りとして伝え、再延長する際には、期限がくる前に、次の見通しを伝えました。

伝達方法は文字やイラストを使い、視覚的にご本人が理解しやすい形にしました。職員が説明しなくてもわかるよう、作成しています。

緊急事態宣言解除後も、解除はされたが、自粛は続けるとお伝えしました。緊急事態宣言同様、「自粛」も普段使わない言葉ですので、意味も別途お伝えをしています。



始めは、「ヘルパーさんの都合が悪い」とか、「お店が休み」とか、単に「マスクをします」と伝えてみることも考えました。

しかし、どこかで情報は入ってしまうと思いましたし、難しいから別の表現に変えて伝えるとか、理由も告げず、風邪でもないのにマスク着用を促すのは、ご本人たちに失礼なのではないかと考えたのです。



説明に使った提示



お話の時間は、ご本人が話を聞いてくれやすい夕飯中にしました

普段、想定とは違う事態が起きた場合（例：行動が遅れてテレビ開始時刻に間に合わない等）、イライラが続いて騒いでしまったりする方もいるのですが、今回伝えた際は、ちょっとそんな兆候が出ててもすぐ治まっていました。また、いつもは一度文書を見たら終わる方が、提示した文書を見返す、いわゆる「二度見」している様子もありました。普段とは違う緊急事態のお知らせであることを感じて頂けたのではないかと思います。

伝達前に「本人にイライラした様子が見られても、心配し過ぎないようにする」ことを、職員とご家族で確認しました。

緊急事態宣言が出された際はみんなが自粛し、外出を控えていました。大げさでなく、世界中の人が、です。先の見えない中で我慢をしていました。彼らも同じで、私達支援者がすべきことは、彼らが我慢していることを理解する事、楽しい活動の中止を納得するまでの時間を待つことが大事と話し合いました。

いつもアドバイスを頂いている篁一誠先生が教えてくれたことの一つに、「理解と納得は違う」という話があります。篁先生は私たちにわかりやすく、身近な話題に例えて、お話しをくださいました。応援していたスポーツのチームが負けた時、それは理解しているのですが、悔しく、その事実を受け入れるまでに時間がかかるのです。先生が「皆さんも彼らが受け入れる時間を待ってあげてください。即変更、即行動なんて中々できませんよね。私たちは伝える側であることが多く、既に納得した状態なので、すぐ答え(本人の行動)が欲しくなります」と教えて頂き、今回の取り組みをする上でとても勇気づけられる言葉でした。

本人たちに少しイライラした様子が見られると、私たちはすぐ対応したくなります。手を打ちたくなります。「やっぱり理解は難しいかも」と考えたりもします。しかし、彼らは理解しているのです。「今、受け入れているところだ」と解釈し、待つてあげることが有意義だったと、今回強く感じました。

ここで、「こっとなはうす」で生活されている2名の方の緊急事態宣言下のエピソードをご紹介します。
それぞれの方のお母様に書いていただきました。

Aさん ご家族からのコメント

車で床屋に行きました。久しぶりの外出でとても嬉しかったのでしょう。笑顔がいっぱいでした。そんな本人の様子を見て、お父さんが「散髪も終わったので、ドライブにでも行くか」の声掛けに、本人が「コロナ危ないよね」と、すぐに返答したのです。これにはビックリしました。「そうだね。今はコロナで危ないから、真っ直ぐお家に帰ります」と言い、帰宅しました。

Bさん ご家族からのコメント

新型コロナウイルスの影響を受け、息子の週末の生活が一変しました。外出中のマスク着用・頻繁な手洗いと消毒。ヘルパーさんとの外出、アフリカ太鼓の活動、ボウリング、カラオケ、床屋、通院の中止などなど。

発熱や怪我ではなく、目に見えずわかりにくいウイルスで活動が中止になった説明を、どうやって納得してもらえるか悩み、職員に相談して一緒に取り組んで頂きました。

ヘルパーさんとの外出は、母親とドライブ+人と接触しない場面でのウォーキング・カメラ撮影。ランチはお弁当を購入して自宅で楽しむことの代替えを提示し、気になる母親の手帳や自分用のスケジュールボード等を駆使して、スムーズに週末を送ることができました。それまでの色々な経験・成長の積み重ねの賜物です。

様々な「中止」をご本人達にそれぞれお伝えした後、それをご本人たちが、ご自身の中で消化していくのを、ご家族も私たち支援者も待つ時間が必要であり、大切でした。この待っている時間、追加で説明が必要なのか、そのまま待つべきなのか、判断が非常に難しいと感じました。しかし、このような時こそ、日頃の関わりから得た彼らの性格、理解力、表現方法など、どの程度深く彼らの事を理解できていたのか、問われているような気がしました。

この数か月、「日常」が中断され、誰もが経験したことのない不安な日々が続いていますが、その中で、支援者としては、ご家族も驚くような彼らの新たな力強い一面が見られたことが嬉しく、また、これまでの関わりが非常時にも支えとなったと感じられ、心強く思いました。

余談ですが、こんなこともありました。送迎車内で移動中、大きな声で独り言を言う方がいました。年明けからかなりひどくなり、他者にも影響が出始めていて、対応しないといけないと考えていた時、このコロナ禍の状況になり、このように説明しました。

- ・マスクをすること。
- ・大声を出すと唾が飛んで危険なこと。

すると、送迎車内での大声がなくなったのです。いわゆる独語と言うのは私たちも止めるのに苦慮する行動の一つですので、これにはちょっと驚きました。

これからも利用者の皆さんやご家族が少しでも安心した生活が送れるよう、努めて行きます。まだ新型コロナウイルスの脅威は過ぎ去ったわけではありません。皆で励まし合い、協力して頑張っていきたいと思います。

文：鈴木 研二

第一号第一様式（第十七条第四項関係）
法人単位資金収支計算書
(自) 平成31年 4月 1日 (至) 令和 2年 3月31日

		(単位: 円)		
勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	0184 障害福祉サービス等事業収入	121,482,996	121,832,400	-349,404
	0197 その他の収入			
	0198 借入金利息補助金収入			
	0199 経常経費寄附金収入	460,860	460,760	100
	0200 受取利息配当金収入	9,407	9,294	113
	0201 その他の収入	2,185,530	2,173,636	11,894
	0202 流動資産評価益等による資金増加額			
	事業活動収入計(1)	124,138,793	124,476,090	-337,297
	支出			
	0129 人件費支出	93,614,376	93,600,996	13,380
	0130 事業費支出	10,383,676	10,316,292	67,384
	0131 事務費支出	11,351,755	11,355,692	-3,937
施設整備等による収支	収入			
	0137 支払利息支出			
	0138 その他の支出	918,590	918,590	
	0140 流動資産評価損等による資金減少額			
	事業活動支出計(2)	116,268,397	116,191,570	76,827
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	7,870,396	8,284,520	-414,124
	支出			
	0204 施設整備等補助金収入			
	0205 施設整備等寄附金収入			
	0206 設備資金借入金収入			
	0207 固定資産売却収入			
	0208 その他の施設整備等による収入	197,820	197,820	
	施設整備等収入計(4)	197,820	197,820	
その他の活動による収支	収入			
	0143 設備資金借入金元金償還支出			
	0144 固定資産取得支出	48,010,000	48,010,000	
	0145 固定資産除却・廃棄支出			
	0147 その他の施設整備等による支出			
	施設整備等支出計(5)	48,010,000	48,010,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-47,812,180	-47,812,180	
	支出			
	0210 長期運営資金借入金元金償還寄附金収入			
	0211 長期運営資金借入金収入			
	0212 長期貸付金回収収入			
	0213 投資有価証券売却収入			
	0214 積立資産取崩収入			
	0217 サービス区分間長期借入金収入			
	0220 サービス区分間長期貸付金回収収入			
	0221 事業区分間繰入金収入			
	0223 サービス区分間繰入金収入			
	0224 その他の活動による収入			
	その他の活動収入計(7)			
	0149 長期運営資金借入金元金償還支出			
	0150 長期貸付金支出			
	0151 投資有価証券取得支出			
	0152 積立資産支出	1,467,100	1,467,100	
	0155 サービス区分間長期貸付金支出			
	0160 拠点区分間繰入金支出			
	0161 サービス区分間繰入金支出			
	0162 その他の活動による支出			
	その他の活動支出計(8)	1,467,100	1,467,100	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,467,100	-1,467,100	
	予備費支出(10)			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-41,408,884	-40,994,760	-414,124
前期末支払資金残高(12)		203,636,493	203,636,493	
当期末支払資金残高(11)+(12)		162,227,609	162,641,733	-414,124

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
法人単位事業活動計算書
(自) 平成31年 4月 1日 (至) 令和 2年 3月31日

		(単位: 円)		
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	0075 障害福祉サービス等事業収益	121,832,400	125,070,951	-3,238,551
	0089 経常経費寄附金収益	460,760	767,900	-307,140
	0090 その他の収益	489,206	765,112	-275,906
	サービス活動収益計(1)	122,782,366	126,603,963	-3,821,597
	費用			
	0015 人件費	95,068,096	89,139,062	5,929,034
	0016 事業費	10,316,292	11,457,809	-1,141,517
	0017 事務費	11,355,692	11,998,233	-642,541
	0027 減価償却費	9,560,254	8,856,473	703,781
	0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-4,465,320	-4,556,752	91,432
	0029 徴収不能額			
	0030 徴収不能引当金繰入			
サービス活動外増減の部	収益			
	0031 その他の費用			
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	121,835,014	116,894,825	4,940,189
	費用			
	0092 借入金利息補助金収益			
	0093 受取利息配当金収益	9,294	9,575	-281
	0096 投資有価証券評価益			
	0097 投資有価証券売却益			
	0098 その他のサービス活動外収益	1,684,430	1,526,780	157,650
	サービス活動外収益計(4)	1,693,724	1,536,355	157,369
	費用			
	0033 支払利息			
	0036 投資有価証券評価損			
特別増減の部	収益			
	0037 投資有価証券売却損			
	0038 その他のサービス活動外費用	918,590	868,260	50,330
	サービス活動外費用計(5)	918,590	868,260	50,330
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	775,134	668,095	107,039
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,722,486	10,377,232	-8,654,747
	収益			
	0100 施設整備等補助金収益			
	0101 施設整備等寄附金収益			
	0103 固定資産受贈額			
	0104 固定資産売却益			
	0107 サービス区分間繰入金収益			
	0110 サービス区分間固定資産移管収益			
	0111 その他の特別収益			
	特別収益計(8)			
	費用			
	0040 基本金組入額			
	0041 資産評価損			
	0042 固定資産売却損・処分損	3	1	2
	0043 国庫補助金等特別積立金取崩額(除)			
	0044 国庫補助金等特別積立金積立額			
	0045 災害損失			
	0048 サービス区分間繰入金費用			
	0051 サービス区分間固定資産移管費用			
	0052 その他の特別損失			
	特別費用計(9)	3	1	2
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-3	-1	-2
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,722,483	10,377,232	-8,654,749
繰越活動増減差額の部	繰越			
	前期繰越活動増減差額(12)	308,420,772	298,043,540	10,377,232
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	310,143,255	308,420,772	1,722,483
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	繰越活動増減差額の部			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	310,143,255	308,420,772	1,722,483

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

法人単位貸借対照表
令和 2年 3月31日現在

資産の部				負債の部			
		当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末
0001 流動資産		166,568,394	208,390,684	-41,822,290	0006 流動負債	3,926,661	4,754,191
1111 現金預金		144,787,305	182,579,822	-37,792,517	2111 短期運営資金借入金		
1121 有価証券					2112 事業未払金		
1131 事業未収金	20,658,105		20,208,162	449,943	2113 その他の未払金	976,390	1,412,880
1132 未収金	27,120		82,842	-55,722	2114 支払手形		
1133 未収補助金					2121 役員等短期借入金		
1134 未収収益					2122 1年以内返済予定設備資金借入金		
1135 受取手形					2123 1年以内返済予定長期運営資金借入金		
1141 貯蔵品					2124 1年以内返済予定リース債務		
1142 医薬品					2125 1年以内返済予定役員等長期借入金		
1144 給食用材料					2127 1年以内返済予定拠点区分間長期借入金		
1161 立替金	211,830			211,830	2128 1年以内返済予定サービス区分間長期借入金		
1162 前払費用					2129 1年以内支払予定長期未払金		
1163 前払費用	807,804		718,858	88,946	2131 未払費用	2,038,815	1,910,083
1171 1年以内回収予定長期貸付金					2132 預り金	12,008	9,164
1173 1年以内回収予定拠点区分間長期貸付金					2133 職員預り金	899,448	1,422,064
1174 1年以内回収予定サービス区分間長期貸付金					2141 前受金		
1175 短期貸付金					2142 前受収益		
1177 拠点区分間貸付金					2144 拠点区分間借入金		
1178 サービス区分間貸付金					2145 サービス区分間借入金		
1181 仮払金	76,230	4,801,000	-4,724,770		2151 仮受金		
1191 その他の流動資産					2152 受身引当金		
1192 徴収不能引当金					2211 その他の流動負債		
0002 固定資産		331,730,828	292,011,805	39,719,023	0007 固定負債	15,493,900	14,026,800
0003 基本財産		156,867,727	161,916,819	-5,049,092	2311 設備資金借入金		
1211 土地		83,679,372	83,679,372		2312 長期運営資金借入金		
1212 建物		73,188,355	78,237,447	-5,049,092	2313 リース債務		
1221 定期預金					2314 役員等長期借入金		
1222 投資有価証券					2316 拠点区分間長期借入金		
0004 その他の固定資産		174,863,101	130,094,986	44,768,115	2317 サービス区分間長期借入金		
1311 土地		103,792,102	55,782,102	48,010,000	2321 退職給付引当金	15,493,900	14,026,800
1312 建物		4,693,805	8,125,989	-3,432,184	2322 長期未払金		
1313 構築物		6,742,344	7,184,190	-441,846	2411 その他の固定負債		
1314 機械及び装置					負債の部合計	19,420,561	18,780,991
1315 車輜運搬具	7		7		純資産の部		
1316 器具及び備品	1,367,255		1,816,601	-449,346	0009 基本金	41,510,583	41,510,583
1317 建設仮勘定					0111 基本金	41,510,583	41,510,583
1319 有形リース資産					0010 国庫補助金等特別積立金	85,113,452	89,578,772
1321 権利	33,278		44,649	-11,371	3211 国庫補助金等特別積立金	85,113,452	89,578,772
1322 ソフトウェア			176,418	-176,418	0011 その他の積立金	42,111,371	42,111,371
1323 無形リース資産					3221 その他の積立金	42,111,371	42,111,371
1324 投資有価証券					0012 次期繰越活動増減差額	310,143,255	308,420,772
1325 長期貸付金					3311 次期繰越活動増減差額	310,143,255	308,420,772
1327 拠点区分間長期貸付金					3312 (うち当期活動増減差額)	1,722,483	10,377,232
1328 サービス区分間長期貸付金							
1329 退職給付引当金							
1331 長期預り金積立資産	15,493,900	14,026,800	1,467,100				
1332 その他の積立資産							
1333 差入保証金	42,111,371	42,111,371					
1334 長期前払費用	150,643	348,463	-197,820				
1341 その他の固定資産	478,396	478,396					
資産の部合計		498,299,222	500,402,489	-2,103,267	純資産の部合計	478,878,661	481,621,498
負債及び純資産の部合計		498,299,222	500,402,489	-2,103,267	負債及び純資産の部合計	498,299,222	500,402,489

1. 減価償却費の累計額
2. 徴収不能引当金の額

たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、地域の一員として自分らしく生活していくために、必要な支援に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼ 年会費	個人会員	1口	3,000円
	団体会員	1口	10,000円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵便為替口座番号 00240-9-17474

郵便為替口座加入者名 たんぽぽの郷後援会

☆☆

ボランティアさん 募集中

わたげ・ふぁず・こっとなはうすで、自閉症を伴う方々と一緒に何か活動してみませんか？

作業の検品、余暇活動の支援、清掃等

お手伝いをしていただけの方がいましたら、ご連絡ください！！

〈連絡先〉

わたげ 電話：046-844-0038（担当：いまうじ）

E-mail: aaq40690@hkg.odn.ne.jp

ふぁず 電話：046-884-8040（担当：さかい）

E-mail: faz2018@wing.ocn.ne.jp

こっとなはうす 電話：046-852-8355（担当：ひがしかわ）

E-mail: tanpoponosato-ch-rg250e@jcom.home.ne.jp

☆☆

編集後記

先日、『ふぁず』の送迎車輛が新しくなりました。今度の車輛は、10人乗りの大きな白いワゴン車。

利用者の皆さんも、新しい車輛に変わることの伝達を聞き、車輛の名前を繰り返し覚えようとする姿も見られました。ご家族からも、「この世の中の状況で外出もできず、我慢することが多いので車輛の変更は楽しみにしていて嬉しそう」というお話を聞きました。色々なことを「嬉しい・楽しい」と感じることは良いことですね。

さてさて、車輛が変更した私たち・・・今までと同じ送迎ルートを通っているのですが、座席位置が以前の車輛よりも高いため、窓から見える景色も変わったようです。何故か、車輛が変更した日の皆さんの顔は、違う景色を見ているように輝いていました。運転している私は、前が見えすぎて緊張でしたけど（笑）。

また先日は、皆さんを降ろしたあと、施設への戻る山からの下り道、前方に見える海の景色に大きな虹の半径がくっきりと見えていました。その虹のゲートに向かって坂を下って走るときの気持ちは、「わ～」と心を癒される感覚でした。虹は、運気が高まっており、明るい未来を示しているとも言われています。もちろん、気象条件だという現実的な話もあります。感じ方1つで、見え方が変わるわけです。ここ最近では、不安を抱くニュースが多い状況ではありますが、こういう時こそ、心の持ちよう次第で変われることもあるということも忘れずにいたいですね。

編集部 高橋

編集 社会福祉法人 横須賀たんぽぽの郷 〒239-0824 横須賀市西浦賀3-13-21

TEL:046-844-0038/FAX:046-844-0036 E-mail: aaq40690@hkg.odn.ne.jp